

### 2001年第10週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 疾病別グラフ
- 感染症調査  
(インフルエンザB集団発生事例について)

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

## (全数情報)

パラチフスの報告が2件あり、いずれもインドでの感染が推定されている。23歳男子学生は7週に細菌性赤痢(ソネとディセンテリーの合併)と診断され、届出があった者で、退院後に発熱がありパラチフスの合併が診断された。20歳男子学生は38~39 度の発熱があった。

細菌性赤痢5件はソネ3件(推定感染地:インド1件、インド・ネパール1件、エジプト1件)、フレキシネル2件(推定感染地:インド1件、国内1件)である。国内での感染が推定されている71歳男性は肺癌、脳転移の患者で、下痢、血便があり、2月27日に死亡した。菌型はフレキシネル2 a だった。

アメーバ赤痢4件は異性間性的接触1件(推定感染地:国内)、経口感染1件(感染地不明)、感染経路不明2件(推定感染地:国内2件)である。

急性ウイルス性肝炎が4件報告された。A型肝炎2件はいずれも経口感染(推定感染地:インドネシア1件、インド・ネパール1件)であり、B型肝炎2件は異性間性的接触1件(推定感染地:国内)、同性間性的接触1件(感染地不明)だった。

ジアルジア症3件はいずれも感染地域・感染経路不明である。

デング熱1件は49歳男性で、発熱・発疹があり、インドネシアでの感染が推定されている。

(推定される感染地域は、医師の届出によるものです。)

## (定点情報)

インフルエンザは先週に比べわずかに増え、定点あたり4.67となっている。

感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑の報告が多い。

## (病原体情報)

- ・細菌性赤痢患者(死亡事例)から検出された赤痢菌はフレキシネル2 a であった。
- ・定点病院から搬入された溶血性レンサ球菌4株のT型は1、3、4、28型で、MRSA3株はコアグラ-ゼ型でエンテロトキシンC産生性1株、およびBC産生性2株であった。なお、T-1型の溶血性レンサ球菌が検出された検体からはコアグラ-ゼV型のMSSAも併せて検出された。
- ・デング熱患者の血液からデングウイルス 型の遺伝子が検出された。
- ・インフルエンザ、上気道炎、脳症、痙攣重積などの患者11名の咽頭拭い液からAソ連型4件、A香港型1件、B型6件のインフルエンザウイルスの遺伝子がそれぞれ検出されている。なお、これらの検体からAH3型が1株、B型が4株分離されている。
- ・乳児嘔吐下痢症の患者2名からロタウイルスが検出され、そのうち1名からはアデノウイルス遺伝子も同時に検出されている。

- ・伝染性紅斑患者 2名の検体からパルボウイルス B19が検出されている。
- ・プール熱疑い患者のうがい液と結膜拭い液から、ともにアデノウイルス遺伝子が検出されている。
- ・インフルエンザ、上気道炎、胃腸炎などの患者 7名の咽頭拭い液、便からアデノウイルス遺伝子が検出されている。
- ・感染性胃腸炎患者 2名の便からSRSVが検出されている。
- ・感染性胃腸炎集団発生 3事例の検体 26件のうち 1件からカンピロバクタ - が検出されたがウイルスは検出されなかった。
- ・多摩支所に搬入された感染性胃腸炎 3検体のうち 1件からSRSVが検出された。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ疑い患者の咽頭拭い液 20件のうち 3件からインフルエンザウイルスが検出された。すべてB型 (瑞穂町 41歳女、多摩市 2歳女、八王子市年齢不明女)である。

## (その他の情報)

上下気道炎・インフルエンザの検体が半数を占め、胃腸炎の検体がそれに続き、脳炎・脳症・痙攣、発熱、発疹などの検体が搬入されている。

今冬季都立衛生研究所の検査において、インフルエンザウイルスは感染症発生動向調査定点から送付された検体のうち 73件から検出され、その内訳はAソ連型 (AH1) 27件、A香港型 (AH3) 16件、B型 30件である。これまで脳症からA香港型が 2件検出されていたが、第 10週に搬入された脳症の患者検体からAソ連型が 1件検出された。一方、学校集団発生事例の検体では 66件から検出されており、その内訳はAソ連型 (AH1) 41件、A香港型 (AH3) 10件、B型 15件である。

### 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

#### 中野区

感染性胃腸炎 乳幼児ばかりでなく、小中高生にも散見され高年齢化しているようです。

#### 荒川区

小児の 2 例は、インフルエンザ A キットで陽性です。

#### 大田区

- ・インフルエンザ O I A にて子供検査陽性、家族 2 人も同一インフルエンザと認め、他 3 人は臨床的判断です。
- ・インフルエンザ様疾患はいずれも昨年、或いは一昨年にインフルエンザの既往があります。比較的軽症です。

#### 調布市

- 1) 今週は感冒性胃腸炎と発熱を伴う急性上気道炎の流行がみられた。
- 2) 散発的にインフルエンザ (都内で診断された由) の患者の来院。

## インフルエンザB集団発生事例について

多摩東村山保健所

2月28日、管内幼稚園より当保健所に「2月16日溶連菌感染症が1名発生した後、発熱を主症状とする園児が多発し、父兄に不安が広がっている」との連絡があり、3月1日に感染症の調査を開始した。

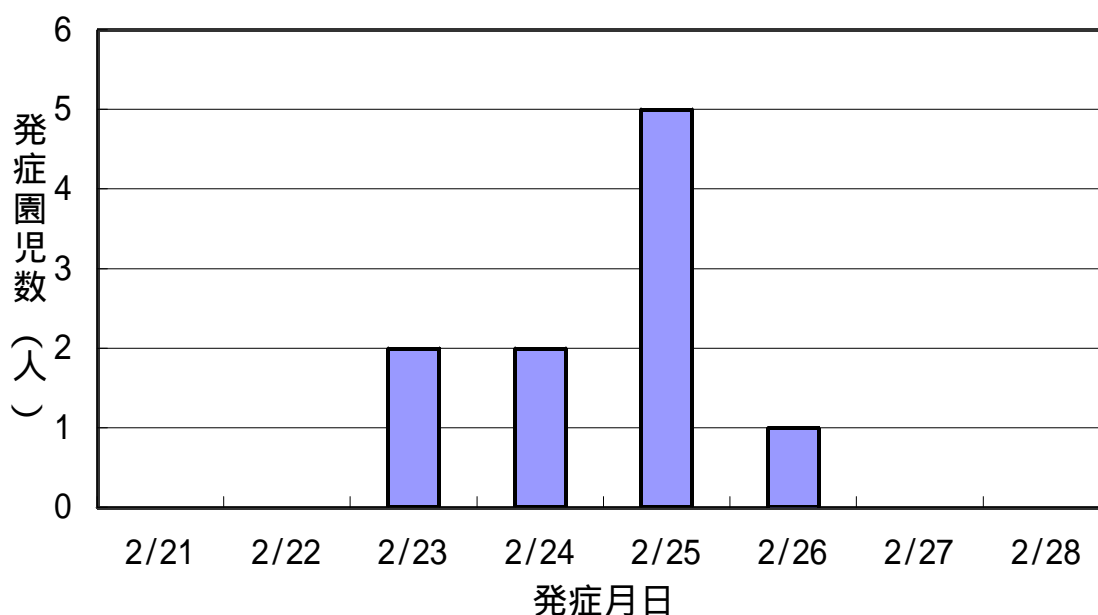
2月26日時点で20名の3歳児クラス中、12名の発症が見られたが、いずれの園児も後遺症なく4日から1週間の休園の後に登園した。なお職員には同様の発症が見られなかった。

情報の得られた10名の全員に38～40の急激な発熱が見られた。有熱期間は2日から7日であった。経過中、咳が7名、鼻汁が1名、咽頭発赤が2名、咽頭痛が4名、嘔吐が4名、腹痛が2名、軟便が4名に見られた。

3月1日、8名について咽頭ぬぐい液検体を採取し、都立衛生研究所で検査した結果、遺伝子検査で3名の園児からインフルエンザB型ウイルスが検出され、内1名からは同ウイルスが分離された(3名中ワクチン接種済は1名)。

10名の園児の内、6名は今冬インフルエンザワクチンを接種済であった。ワクチン接種済の園児の平均有熱期間は4.3日、ワクチン未接種園児の平均有熱期間は4.5日で大きな差はなかった。接種済の6名中2名の有熱期間は2日で軽症であったが、6日間発熱の続いた重症の園児も見られた。

また10家族中4家族で、兄弟4名と母親1名に同様の症状が見られた。



### \* 感染症調査

感染症新法により、一類～三類感染症と、通常と異なる傾向が認められる四類感染症が発生した場合に、流行状況の迅速な把握や原因究明等のために必要に応じて感染症調査が行われることとなりました。

全数届出患者数一覧表 2001年10週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		7週	8週	9週	10週	10週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ・ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ					1
	細菌性赤痢	5	2	4	5	17
	腸チフス					
	パラチフス				2	2
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症		1	1		15
四類 (全数届出)	アメ - バ赤痢	3	4	2	4	5
	エキノコックス症					
	黄熱					
	オウム病		1	1		
	回帰熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	2	2	1	4	6
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				
	後天性免疫不全症候群	6	6	10	10	13
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	4		3	3	4
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎	1				
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病			1		
	デング熱			1	1	1
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	4	1		4	7
	破傷風					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1			
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
マラリア	1				1	
ライム病						
レジオネラ症					1	

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/03/15集計)

## 定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2001年 週				累計
		7	8	9	10	
インフルエンザ	男	246	397	401	400	1444
	女	188	323	388	431	1330
咽頭結膜熱	男	2	2	2	3	9
	女	4	1	2		7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	26	44	44	31	145
	女	21	36	42	39	138
感染性胃腸炎	男	580	606	596	512	2294
	女	523	622	585	481	2211
水痘	男	76	84	75	105	340
	女	88	90	76	97	351
手足口病	男	6	6	5	5	22
	女	4	7	4	7	22
伝染性紅斑	男	25	30	26	41	122
	女	22	34	29	23	108
突発性発疹	男	21	35	37	32	125
	女	24	42	36	36	138
百日咳	男		1			1
	女		1			1
風疹	男	3	2	3	3	11
	女		2	3		5
ヘルパンギーナ	男	3	4	4	3	14
	女	1	3	4	1	9
麻疹(成人以外)	男	9	1	14	6	30
	女	2	4	6	6	18
流行性耳下腺炎	男	55	84	71	75	285
	女	55	64	71	74	264
不明発疹症	男	5	7	6	6	24
	女	3	3	4	2	12
MCLS	男	1				1
	女			1		1
急性出血性結膜炎	男	1		1		2
	女					
流行性角結膜炎	男	10	10	7	4	31
	女	13	13	5	6	37
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男		2			2
	女					
細菌性髄膜炎	男		1		2	3
	女		1			1
無菌性髄膜炎	男				1	1
	女	1				1
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男				1	1
	女	1	3		1	5

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表(2001年10週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月				8	6			3									
～1歳	4			44	5	1		47			1	2				2	
1歳	23		1	85	23	3		16					9			1	
2歳	44		4	85	35	3	1	1		1		1	12				
3歳	42		5	73	29	1	2						15				
4歳	55	1	11	99	46		16				2	3	29			1	
5歳	58	2	11	79	26	2	12				1	1	11			1	
6歳	61		10	91	14		13	1		1		1	27			2	
7歳	50		9	82	7		3					1	26				
8歳	46		6	61	5	1	7			1		1	8				
9歳	30		3	34	2		5					1	1			1	
10～14歳	99			100	1		3					1	4		1		
15～19歳	38			22	1								1				
20～29歳	79		10	130	2	1	2						6		4		
30～39歳	110														4		
40～49歳	42														1		
50～59歳	29																
60～69歳	13																
70～79歳	7																
80歳以上	1																
合計	831	3	70	993	202	12	64	68	0	3	4	12	149	0	10	8	0
先週比	42	-1	-16	-188	51	3	9	-5	0	-3	-4	-8	7	-1	-2	-2	-1

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年10週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央	1			5	4			2										12
日本橋				4														4
世田谷	40	3		68	16		2	3				2	4			1		139
渋谷区	24		1	54	4	1	1	5				1	4					95
池袋	1		1	2				1			2							7
長崎				6			2	1										9
荒川	15		1	12											1			29
足立	17		3	62	7		1	1					10					101
葛飾	68		8	34	13	2	12	1					1					139
江戸川	8			35	6		2	1					2			2		56
小岩	4			12				1										17
台東	29		6	39	11		8	2					11					106
目黒区	4		1	21	6		2									1		35
大田区	31		4	54	4		3	4					9		1			110
杉並	7		2	19	3		1	3					3					38
北区	41		2	26	7	3	3	5					10					97
板橋区	55			19	1		1	2					3					81
みなと	4			7	6								2			1		20
中野区	33			44	6		1	2				1	6					93
新宿区	23		3	78	8			3					7		1			123
品川区	15		3	43	4		5	2					9					81
千代田	17			16	3	1							1					38
練馬区	28		8	12	6	2	5	1					5			1		68
文京	29			19			1	1					4		3			57
墨田区	11			26				1					2					40
江東区	10		7	31	3			4					2		2			59

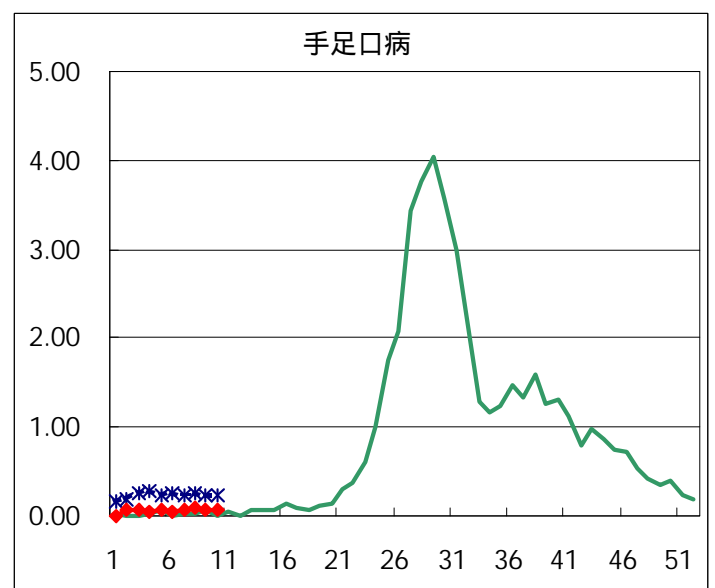
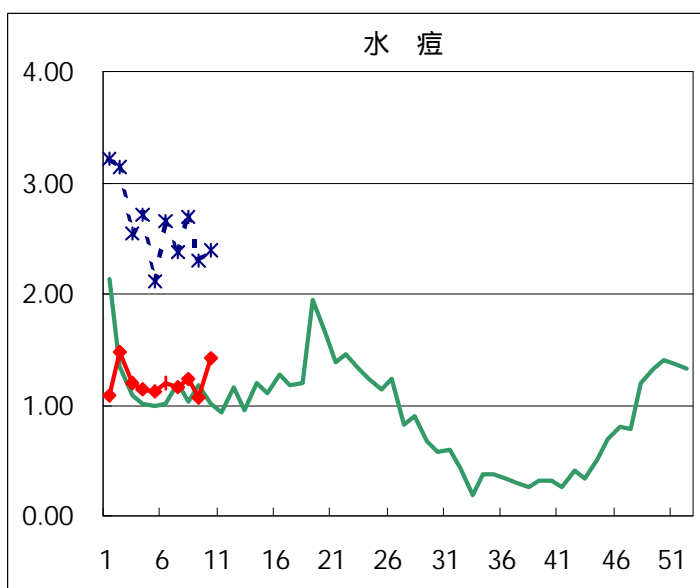
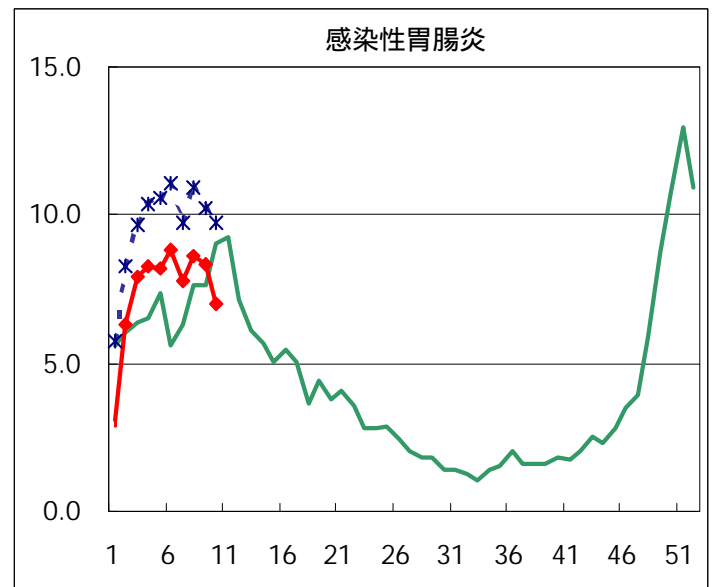
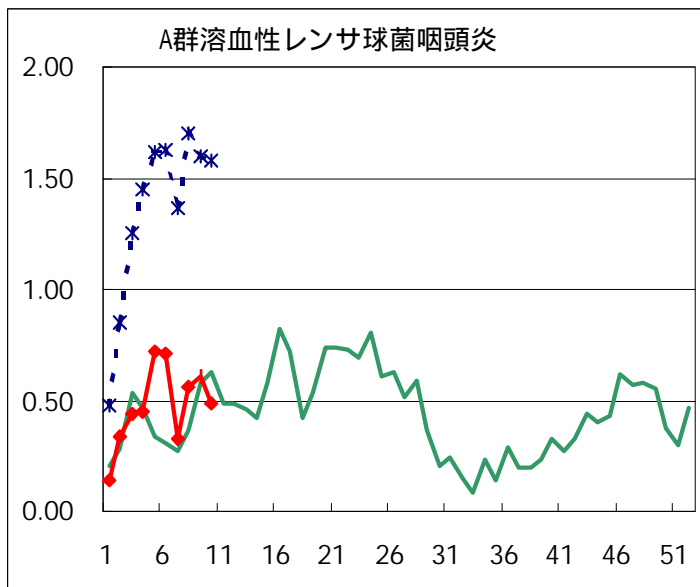
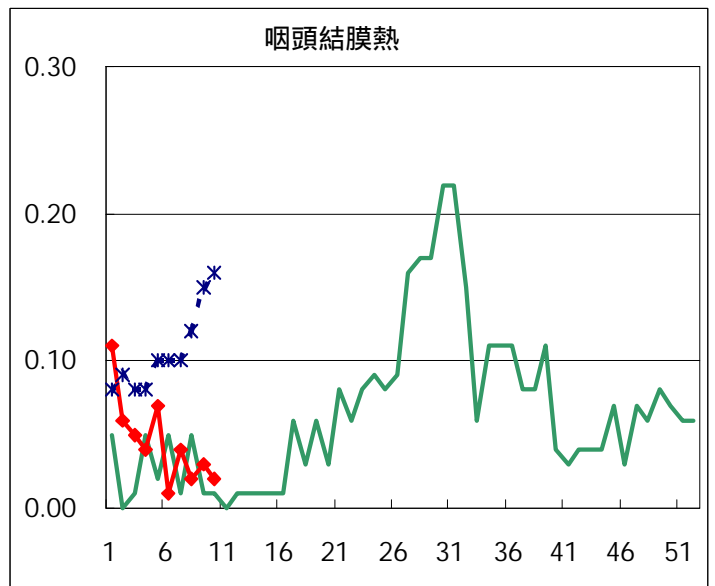
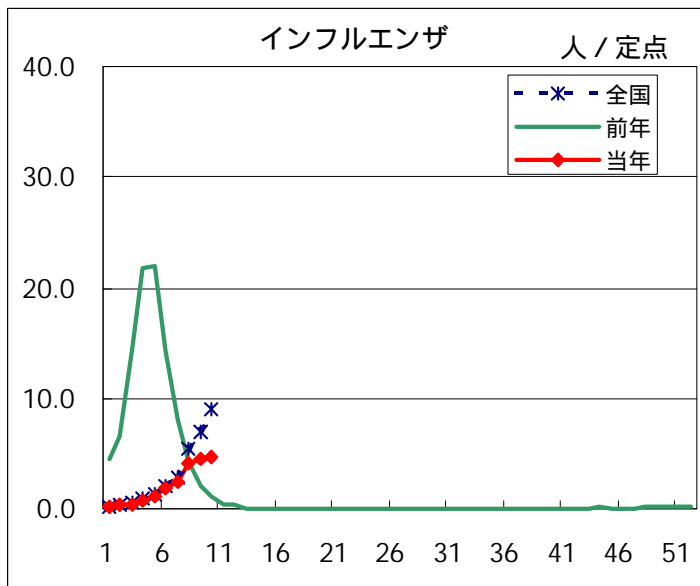


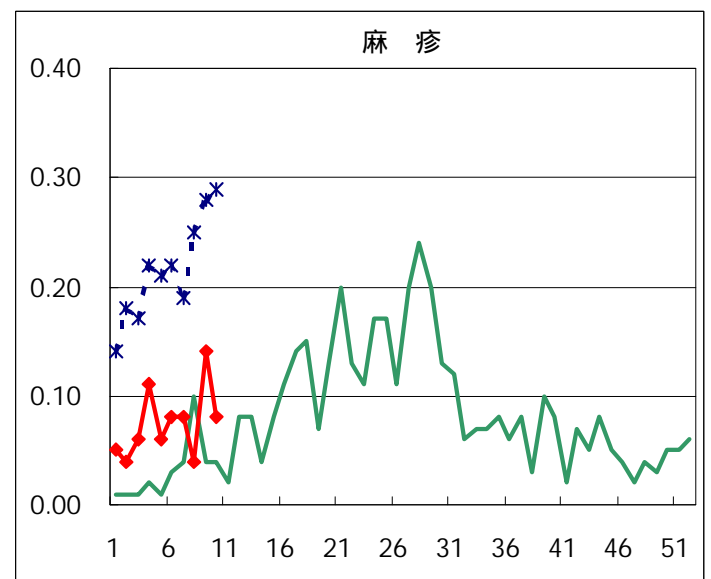
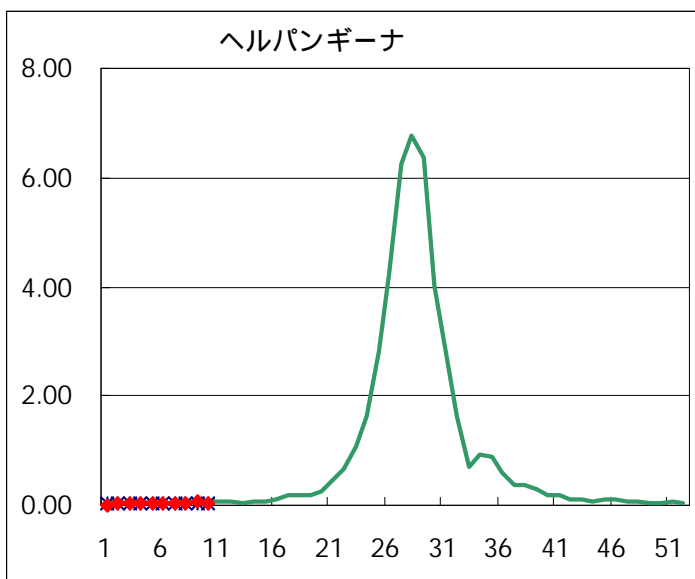
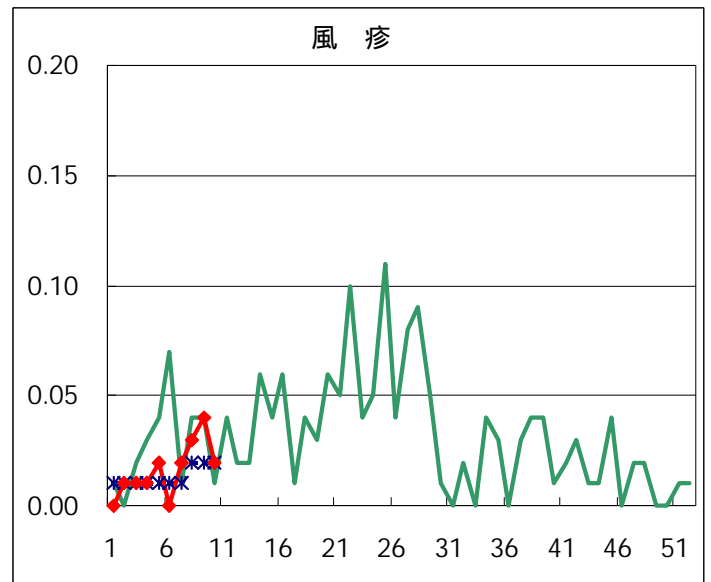
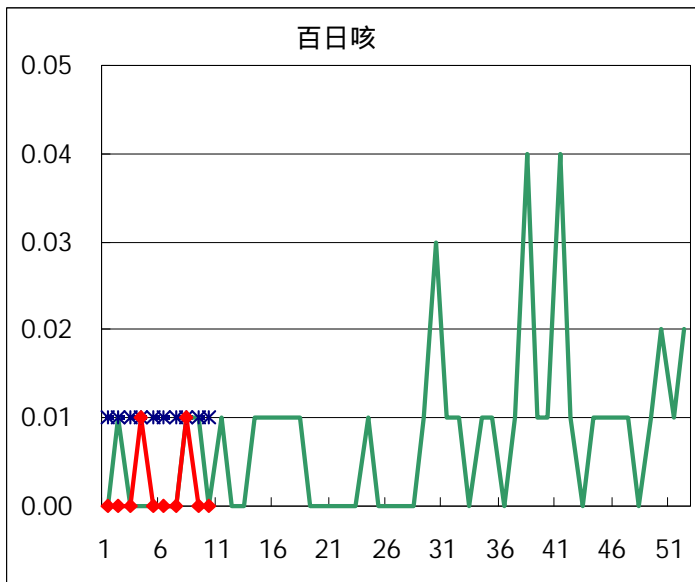
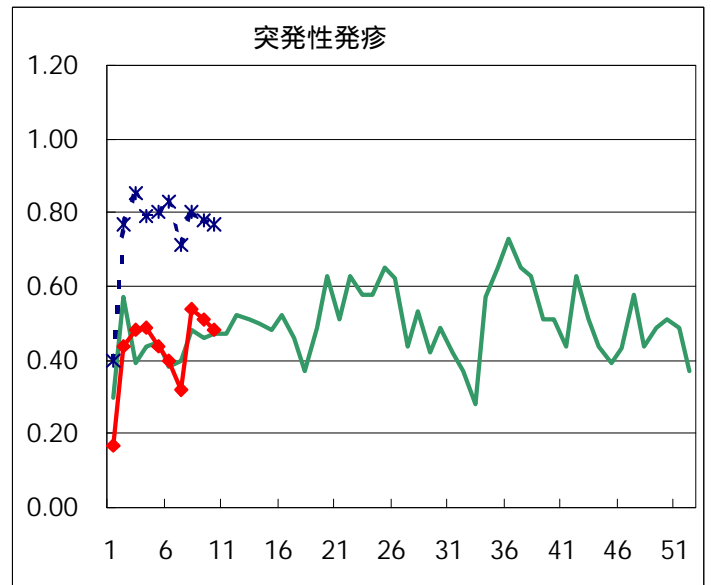
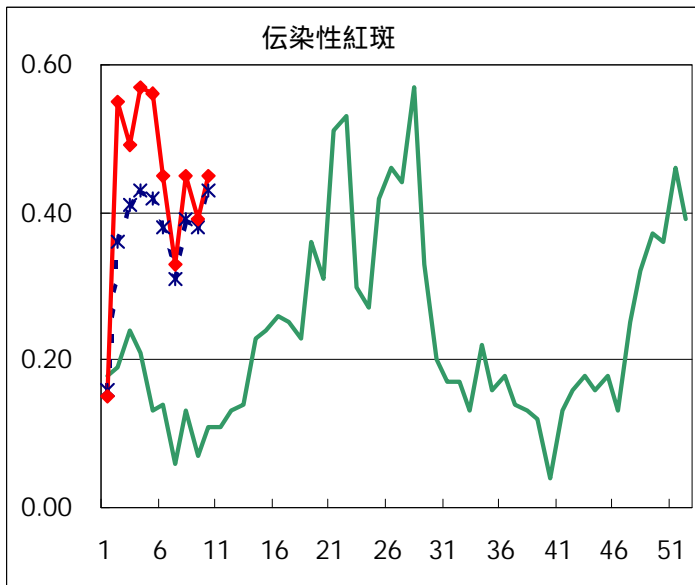
保健所別累計表 (2001年10週)

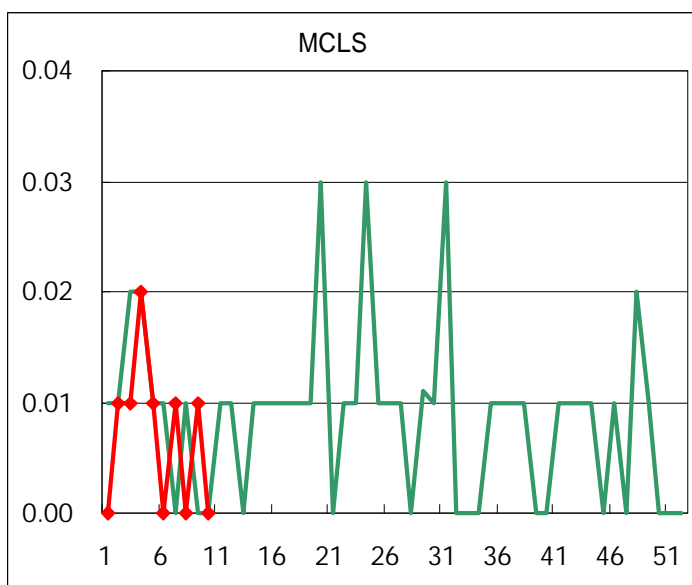
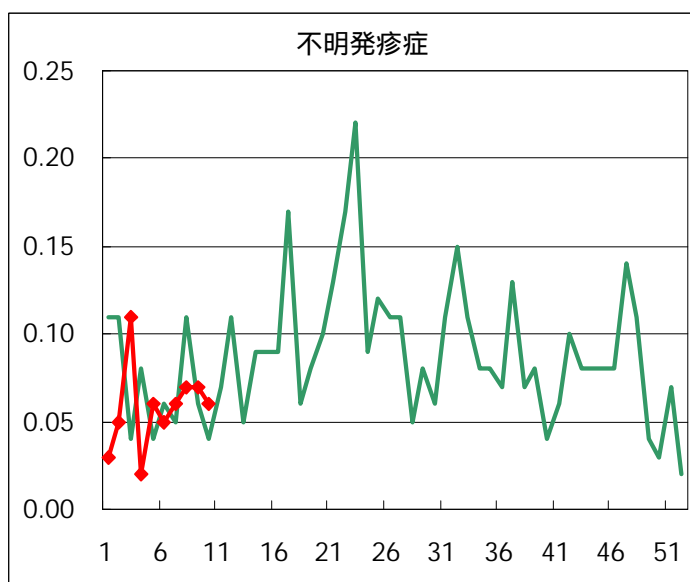
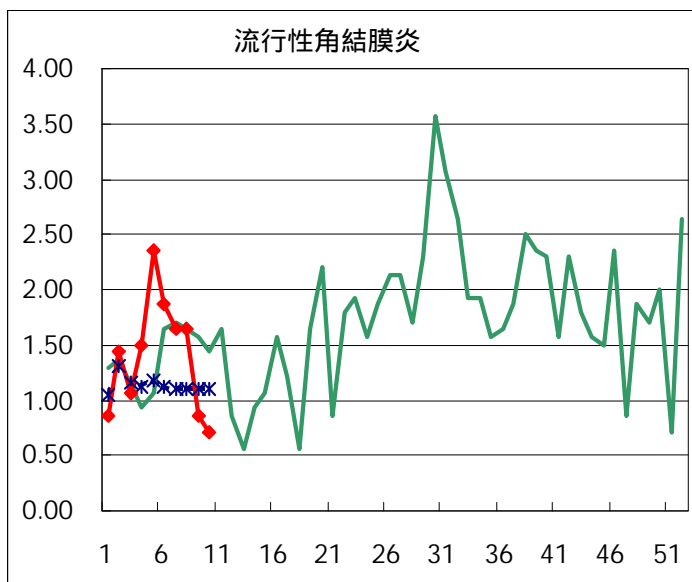
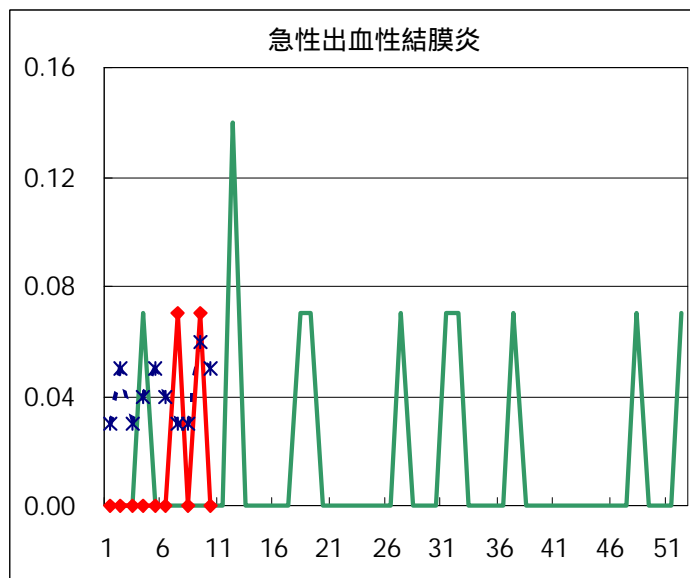
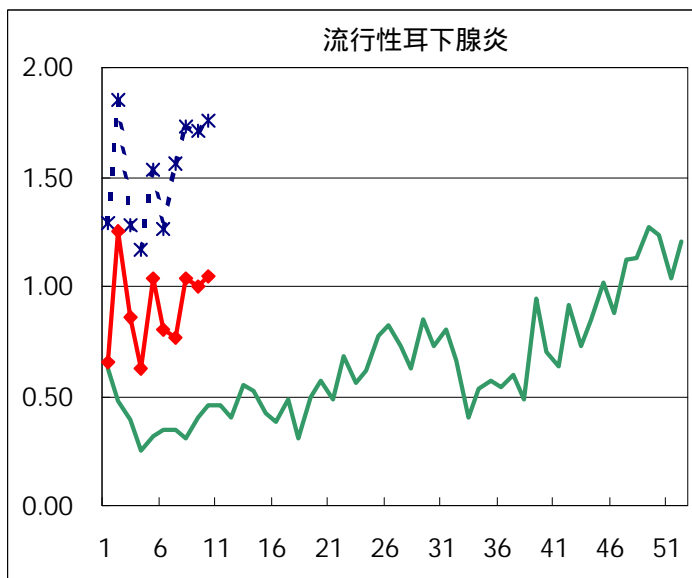
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	45			8	12			3				3	5					76
町田	15		1	39	3	2		1			2		1		1	2		67
島しょ	3				12								10					25
多摩川	17		1	20	8		2	2				2	7					59
秋川	43		3	33	7			4					13					103
南多摩	16		3	19	5			2				1	2					48
多摩立川	36		2	14	1		3					2						58
村山大和	35		2	9	4			1					2		1			54
府中小金井	14		5	2	5		1	2					6					35
狛江調布	6		1	28	11		2											48
三鷹武蔵野	15			3	3		2						3					26
多摩小平	48			31	5		2	3		1								90
多摩東村山	23		2	39	8	1	2	4		2			5					86

東京都合計	831	3	70	993	202	12	64	68	-	3	4	12	149	-	10	8	-	2429
定点当り報告数	4.67	0.02	0.49	6.99	1.42	0.08	0.45	0.48	-	0.02	0.03	0.08	1.05	-	0.71	0.06	-	

# 疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	

